

学校だより



津市立櫛形小学校
R5.6.2発行
第4号文責：校長

☆☆運動会の応援☆☆ ありがとうございます



まるで初夏を思わせるような輝く太陽の下、たくさんの保護者のみなさま、地域のみなさまに見守られながら運動会を開催することができました。早朝からのご参観、そして最後の片付けまでお手伝いいただきまして本当にありがとうございました。

今年の運動会のテーマは「55人の心に火をつけて 全力で舞い上がろう！」でしたが、そのテーマ通りに最後まで熱く全力で取り組む子どもたちの姿をご覧いただけたと思っております。子どもたちは、練習の時からしっかりと努力を重ねてきました。練習が始まったばかりの頃には不安なところも見られたのですが、日に日に動きが整い、カー杯競技や演技に取り組んでいくようになりました。全力で取り組んだ時の子どもの成長、子どもたちのもっている本来の力の素晴らしさを、改めて教えてもらった1日でした。



【開会式】

児童会役員が持つ校旗を先頭に入場開始。それを見たある子が「ぼくも児童会役員になって(校旗を)持って行進したい!! だから立候補する!」と。こうして櫛形の伝統が引き継がれていくんだと思いました。



【紅白対抗全員リレー】

全チーム、スターターからアンカーまで全員が全力で走ってバトンが繋がりました。バトンパスでは渡す側が「はい」と声を掛けてバトンと渡していました。練習の成果ですね。



【ようこそ櫛形小へ】

来年度4月に入学予定の子どもたちが参加してくれました。担当は来年度6年生になる5年生です。腰をかがめて優しく声をかけ、最後は一緒にトラック半周を歩きました。ほっこりとした時間になりました♡



【引っぱれゴーゴー!】

コロナ禍で初めて綱引きを経験する低学年の児童もいました。声を合わせて気合を入れ、力を合わせて綱を引っ張りました。

6年生をリーダーとして高学年は、この運動会を立派に運営し、素晴らしい応援や演技を見せてくれました。

また、下級生は上級生の演技や応援、立派な仕事ぶりを憧れの眼差しで見つめていました。

高学年の団体競技種目の時、3年生の子どもたちが、「私たちがこのグッズを借りて、応援団をしてもいい?」と尋ねにきました。もちろんOKです。

高学年の「つかもうぜ! 勝利のボール!」の間、3年生は工夫して1、2年生に声を掛けながら、応援をしていました。3年生の自発的な行動をうれしく思いました。

そして、こうして櫛形小学校の運動会の歴史が作られ引き継がれていくのだと感じました。

55人の心がひとつに・・・☆☆全力で舞い上がった 櫛形ソーラン☆☆



ビシッと決まっている「かまえ」のポーズ。
全員の気持ちが1つになってます！！

石川 太一先生
当日は6メートル
の旗を振って
いただきました。



石川 萌菜実先生
当日は一緒に踊っていただきました。



ステキです。この躍動感！ 後ろで踊る教職員も必死！
この一体感がたまらない！ ステキな時間をありがとう♡

☆☆子どもたちの感想☆☆

最初、踊ることは恥ずかしいと思っていました。でも太一先生と萌菜実先生が、かっこよく踊っているのを見て、負けたくないという気持ちになりました。これだけ熱中できることがあるのはすごいと思います。

はじめは指導が厳しくてこわかったけど、熱心なだけですから感情がこもっていて、自分も頑張ろうと思いました。

ぼくも太一先生やもなみ先生のようにソーランの上手な人になりたいと、めっちゃ思いました。

ちょっとだけ厳しかったけれど、そのおかげで本番でかっこよく踊れたのでよかった。練習はとても大変だったり、疲れたりしたけど悔いなく全力でやり切れたのでよかったです。

ダンスが苦手だったけど、太一先生と萌菜実先生のおかげで楽しく踊れてよかった。

本番で旗を振ってくれたり、一緒に踊ってくれたりして嬉しかったです。

☆☆保護者の方からの感想☆☆